

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	839.17		1,032.60		830.00	
飼料用米	358.75		175.37		406.82	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	8.38		8.38		26.00	
加工用米	0		0		0	
麦	14.37		19.00		46.00	4.80
大豆	30.22		27.04		63.15	6.58
飼料作物	278.65	6.04	222.71	6.04	261.18	4.00
・子実用とうもろこし						
そば	13.43		10.80		9.37	3.94
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0.70		0.70		2.00	
高収益作物	61.08		29.38			
・野菜	52.20		27.15		41.44	
・花き・花木	5.02		1.69		3.90	
・果樹	2.73		0.02		0.48	
・その他の高収益作物	1.13		0.52		1.12	
その他						
畑地化	18.88		5.60			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆、飼料作物（飼料作物の範囲は別表2に定めた作物とする。）、飼料用米、WCS用稲（基幹作物）	担い手利用集積助成	集積面積 1時間あたりの 作業面積（耕起作業）（基準：H27作業面積） 10a当たり収量	（令和6年度） 434.25ha 麦：1,135㎡/1時間 大豆：578㎡/1時間 飼料作物：6,508㎡/1時間 飼料用米：3,004㎡/1時間 WCS：468㎡/1時間 麦：298kg/10a 大豆：128kg/10a	（令和8年度） 555.68ha 麦：2,370㎡/1時間 大豆：1,182㎡/1時間 飼料作物：7,844㎡/1時間 飼料用米：3,542㎡/1時間 WCS：2,308㎡/1時間 麦：264kg/10a 大豆：300kg/10a
2	飼料用米の生産ほ場の稲わら（基幹作物）	稲わら利用助成（耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面積/対象作物面積）	（令和6年度） 144.09ha 40.73%	（令和8年度） 209.22ha 71.00%
3	飼料作物（飼料作物の範囲は別表2に定めた作物とする。）（基幹作物）	水田放牧助成（耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面積/対象作物面積）	（令和6年度） 0.84ha 0.23%	（令和8年度） 1.75ha 0.61%
4	粗飼料作物等（粗飼料作物等の範囲は別表3に定めた作物とする。）（基幹作物）	資源循環助成（耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面積/対象作物面積）	（令和6年度） 2.03ha 0.56%	（令和8年度） 9.00ha 2.54%
5	飼料用えん麦、そば、大豆、小麦、飼料用小麦（二毛作）	二毛作助成（二毛作）	取組面積 取組割合（二毛作面積/組合せ作物基幹作面積）	（令和6年度） 6.04ha 0.38%	（令和8年度） 20.00ha 1.54%
6	りんどう、未成熟とうもろこし（基幹作物）	地域振興作物助成A	作付面積	（令和6年度） 3.89ha	（令和8年度） 8.10ha
7	地域振興作物（地域振興作物の範囲は別紙2に定めた作物とする。）（基幹作物）	地域振興作物助成B	作付面積	（令和6年度） 10.42ha	（令和8年度） 18.73ha
8	黒平大豆（基幹作物）	黒平大豆振興助成	作付面積	（令和6年度） 7.99ha	（令和8年度） 12.00ha
9	飼料用米（基幹作物）	飼料用米団地化加算助成	団地化面積 労働時間の削減（「基準：27h/10a」との差）	（令和6年度） 82.19ha 0.38h/10a ▲	（令和8年度） 92.27ha 0.41h/10a ▲
10	飼料用米（基幹作物）	飼料用米振興助成	作付面積	（令和6年度） 令和7年度新規のため、実績なし	（令和8年度） 358.75ha
11	そば（基幹作物）	【国枠】そば振興助成	作付面積	（令和6年度） 10.92ha	（令和8年度） 9.37ha
12	地力増進作物（具体的な対象作物名は別紙6）（基幹作物）	【国枠】地力増進作物作付助成	作付面積	（令和6年度） 0.7ha	（令和8年度） 2.00ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：盛岡市玉山地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	担い手利用集積助成	1	3,000	麦、大豆、飼料作物(別表2のとおり)、飼料用米、WCS用稲(基幹作物)	自作地・農作業受委託・利用権設定の合計面積(作物毎)が2ha以上であること 等
2	稲わら利用助成(耕畜連携)	3	9,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら(基幹作物)	利用供給協定に基づき実施されていること 等
3	水田放牧助成(耕畜連携)	3	9,000	飼料作物(別表2のとおり)(基幹作物)	利用供給協定に基づき実施されていること 等
4	資源循環助成(耕畜連携)	3	9,000	粗飼料作物等(別表3のとおり)(基幹作物)	当該年度における堆肥の散布の取組であること 等
5	二毛作助成(二毛作)	2	10,000	飼料用えん麦、そば、大豆、小麦、飼料用小麦(二毛作)	飼料用えん麦は、実需者等との利用供給契約を作成し供給を行うこと。そばは、実需者等との出荷・販売契約等を締結するとともに、収穫・出荷・販売を行うこと。自家加工や直売所での販売の場合は、販売計画等を策定するとともに、収穫・出荷・販売を行うこと。麦・大豆は、実需者との出荷・販売契約を締結するとともに、収穫・出荷・販売を行うこと。 等
6	地域振興作物助成A	1	20,000	りんどう、未成熟とうもろこし(基幹作物)	実需者等へ出荷・販売すること 等
7	地域振興作物助成B	1	10,000	地域振興作物(別紙2のとおり)(基幹作物)	実需者等へ出荷・販売すること 等
8	黒平大豆振興助成	1	40,000	黒平大豆(基幹作物)	実需者等へ出荷・販売すること。 排水・湿害対策を行うこと。
9	飼料用米団地化加算助成	1	9,000	飼料用米(基幹作物)	2ha以上の団地とすること 等
10	飼料用米振興助成	1	4,000	飼料用米(基幹作物)	多収品種に取り組むこと。加工用米等取組計画書が受理されていること。収穫・出荷・販売・自家利用を行うこと。
11	【国枠】そば振興助成	1	20,000	そば(基幹作物)	実需者等との出荷・販売契約等を締結するとともに、出荷・販売すること。排水・湿害対策(明きよ、暗きよ、心土破碎、畝立て、深耕、その他排水・湿害対策に資すると認められるもの)を行うこと。
12	【国枠】地力増進作物作付助成	1	0～20000	地力増進作物(具体的な対象作物名は別紙6)(基幹作物)	各対象作物に適した作期に、適正な肥培管理を実施した上で、圃場へのすき込みを行うこと。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。